平成 30 年度（公財）松山観光コンベンション協会

事　業　報　告

Ⅰ．事業概要

平成３０年度は、道後温泉が「女性の一人旅に人気の温泉地ランキング」５年連続１位となり、「道後オンセナート２０１８」の開催、また、道後温泉本館が保存修理工事に入り「道後ＲＥＢＯＲＮプロジェクト」が始まったことなどから道後に注目が集まりました。一方で、松山城も「旅好きが行く日本の城ランキング」で３位に選ばれるなど、松山市の観光のシンボルとも言われる二大観光地が全国的に取り上げられた年でした。

当協会としては、そのような状況の変化等を見据えながら事業に取り組んでまいりました。

観光面におきましては、「瀬戸内・松山」構想を掲げる松山市と連携を図りながら誘客に努めるとともに、米子・高知との連携で形成している「三角ルート」を活用しＰＲを図ったほか、県内外の様々な方面からの誘客促進並びに情報提供として Facebook において毎日、最新の観光情報を発信するとともに、ホームページ上での情報掲載やインスタグラム等の活用も始めました。そのほか松山マドンナ大使による観光ＰＲ活動や、観光客の受け入れ体制としておもてなしの心を持った「松山観光ボランティアガイド」による主要観光施設（松山城・道後温泉）などの案内を行いました。

物産面におきましては、広域連携事業として米子市や高知市で開催されたイベントにおいてミニ物産展を開催するとともに、札幌の東急百貨店にて２０回目となる「松山の物産と観光展」を愛媛県と連携して実施し、愛媛・松山の誇る物産の販売と観光ＰＲを行いました。また、松山ブランドを推進しつつ、「食」の充実を図るための飲食店ＭＡＰを作成しました。

コンベンション事業におきましては、四国地区ならびに中国・四国地区のコンベンション推進協議会や７都市情報交換会による広域的な関係構築を継続し、人的交流・情報交換を進めるほか、懇談会では他団体で縁のある主催者との交流を通じて誘致活動を行いました。また、国際ＭＩＣＥエキスポ（ＩＭＥ２０１９）では、商談会形式による松山独自の支援や魅力を材料に誘致活動に取り組みました。さらに、誘致に成功した全国大会や国際会議等においては、支援メニューを提供するなど、主催者や参加者に松山での開催を喜んでいただけるような最大限のおもてなしを行いました。

国際交流事業としては、台湾において積極的に観光キャンペーン及び物産ＰＲ事業を開催することで誘客に努め、台北ドラゴンボートレースや台北マラソンなどのスポーツイベントにも観光ブースを出展しました。また、台北ランタンフェスティバルにおいては、松山をイメージしたランタンを設置し、台北市民に対して大いに松山をＰＲしました。今後も、観光をはじめスポーツ、文化、学術等の交流に協力します。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

Ⅱ．公益目的別事業報告

１．観光・物産振興事業（公益目的事業１）

（１）「おいでんか松山」観光客誘致促進事業

＜受注型企画旅行＞

助成業者　５６社（詳細は、別紙資料３参照）

旅行会社が松山市へ観光客を送客する受注型企画旅行に関し、貸切バスや船舶にかかる費用の一部を助成することで観光客の誘致を促進した。

（２）松山マドンナ大使関連事業

2018 年度　松山マドンナ大使関係事業

委嘱式　　平成 30 年 4 月 2 日（月）

派遣件数　　４３件（延べ日数　８７日）

2019 年度　松山マドンナ大使選考会

期　　日　　平成 30 年 12 月 8 日（土）

応 募 者　　３１名

場　　所　　松山市総合コミュニティセンター

（左から冨士菜々香、青木祥子、長曽我部茜）

（３）観光ＰＲ事業（新聞・テレビ・雑誌等によるＰＲおよびイベント）

①　広告宣伝関連

ア．週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外

イ．愛媛ＦＣ及び愛媛マンダリンパイレーツの試合会場への広告掲載

ウ．愛媛マラソン手荷物預り袋への広告

② イベント関連

・大神輿総練

期　　日　　平成 30 年 9 月 16 日（日）

場　　所　　城山公園（松山市堀之内）

内　　容　　市内の神輿による「かき比べ」を行うことで、松山市の伝統文化である松山の神輿を全国にＰＲし、松山の魅力を発信する事業に協力した。

今回は、神輿２２基が参加したほか、水軍太鼓の演奏、野球拳の踊り、獅子舞の演舞などが披露された。また、松山市外からは、宇和島の牛鬼、新居浜の太鼓台が参加、力溢れるパフォーマンスを披露したほか、今治の継ぎ獅子も披露され会場を大いに盛り上げた。また、特別出演として大分の大友宗麟鉄砲隊による演武が行われた。さらに、ふれ愛ステージにおいては、ＩＫＥＣＨＡＮによる松山神輿祭りの歌の披露や愛の葉ガールズによるパフォーマンスが繰り広げられたほか、愛媛県ほか県下７市町及び米子市による観光物産展を開催し、当日は、市民・観光客など延べ約６万人の来場を数え、盛大に開催することができた。

松山神輿22基、太鼓台、牛鬼によるかき比べ

ふれ愛ステージ

市町ブース

野球拳

水軍太鼓

今治継ぎ獅子

大友宗麟鉄砲隊

宇和島牛鬼

IKECHAN ライブ

新居浜太鼓台

会場内

愛・野球博トーク

女神輿

神輿パフォーマンス

（４）観光キャンペーン事業

①　松山 DAY　in　神宮球場　観光キャンペーン

期　　日　　平成 30 年 8 月 7 日(火)

場　　所　　神宮球場

内　　容　「東京ヤクルトスワローズ　ＶＳ　横浜ＤｅＮＡベイスターズ」

・ｶﾗｰﾋﾞｼﾞｮﾝによる PR（試合開始前､2 回表終了､4 回裏終了､8 回表終了）

・のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、両軍選手代表への花束・記念品贈呈、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、松山市軟式野球連盟推薦の女子選手による始球式、観光パンフレットやノベルティの配布（先着 1,000 名）を実施した。

また、愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」もグラウンドに登場し愛媛・松山の PR を行った。

始球式

カラービジョン

ノベルティ配布

球場の様子

② 台湾・台北市観光キャンペーン

ア．台北国際ドラゴンボートレース２０１８

期　　日　　平成 30 年 6 月 16 日（土）～6 月 18 日（月）

場　　所　　台北市

内　　容　　台北市で開催された「台北国際ドラゴンボートレース 2018」の会場において、観光ブースを出展し、来場者に松山市を PR した。

ドラゴンボートレースには、224 チームが参加。応援団等の観客は、3 日間で 4 万 5 千人ほどの来場があり大きな宣伝効果が得られた。

ブースでは、愛媛県や松山市の観光パンフレットを配布したほか、ピストルダーツを実施。的に命中した人には記念品として道後温泉ハンドタオル等を配布した。実際に松山へ旅行に来られた方や計画中の方などが訪れるとともに、ゲームに興味を持って次回は松山市を訪れると話す人など、松山の知名度アップに貢献した。

ドラゴンボートレースは、愛媛大学が３回目の参加であったが、初めて 1 回戦を突破し健闘した。

レースの様子

松山ブース

ブースの賑わい

愛媛大学チーム

イ．２０１８台北温泉まつり

期　　日　　平成 30 年 11 月 1 日(木)～11 月 4 日（日）

場　　所　　新北投温泉駅前広場

内　　容　　「2018 台北温泉まつり」へブースを出展し松山の観光ＰＲとチャリティ事業として物産販売を実施し、台湾からの誘客促進並びに松山市と台湾・台北市との友好交流拡大を図った。また、今年は、道後温泉別館・飛鳥乃湯泉のＰＲブースを設け、ステージにおいてＰＲを実施するとともに、松山市出身の墨絵イラストレーター茂本ヒデキチさんによる墨絵ライブパフォーマンスを披露した。

パレード

ＰＲブース

ＰＲブース

道後ＰＲ

茂本ヒデキチ氏

茂本ヒデキチ氏

会場内

寄附金贈呈

ウ．ＩＴＦ２０１８（台北国際旅行博）

期　　日　　平成 30 年 11 月 23 日（金）～11 月 26 日（月）

場　　所　　南港展覧館

内　　容　　台湾最大規模の旅行博「ＩＴＦ2018（台北国際旅行博）」に、愛媛県と協同でブースを出展し、愛媛県松山市の観光ＰＲを行った。

今回、ブースのテーマが台湾との定期便が就航していない愛媛・大分県へ福岡空港、北九州空港、広島空港、高松空港等からのイン・アウトバウンドと、豊後水道のフェリーを使った周遊ルートの周知であり、両県共通の観光資源である「温泉」「サイクリング」「観光列車」を軸に松山を PR した。また、台湾の旅行業者や現地のブロガー等と情報交換や交流を行った。

舞台での観光ＰＲ

ブース

ブース２

会場内

エ．２０１８台北マラソン

期　　日　　平成 30 年 12 月 9 日（日）

場　　所　　台北市政府庁舎前

内　　容　　約２万人のランナーが参加する「2018 台北マラソン」へブースを出展し松山の観光ＰＲを実施。ブースでは、愛媛県や松山市の観光パンフレットを配布したほか、ランナーに対し道後温泉ハンドタオル等のノベルティを配布することで、松山への誘客を図った。

また、ＳＮＳを活用し、協会のインスタグラム・facebook のフォローやに松山ブースの写真を投稿してもらい記念品を贈呈することで、来場者に向けての観光ＰＲにも取り組んだ。

観光ＰＲブース

観光ＰＲブース

セレモニー

オ．２０１９台北ランタンフェスティバル

期　　日　　平成 31 年 2 月 16 日（土）～2 月 24 日（日）

場　　所　　台北市西門町

内　　容　　「2019 台北ランタンフェスティバル」に松山のランタンを出展。松山市をＰＲするために、松山春まつりの大名行列と野球拳、過去に台北市で実施した神輿鉢合わせをモチーフにしたランタンを出展したほか、ランタン会場に松山観光ＰＲブースを出展し、愛媛県や松山市の観光パンフレットの配布やピストルダーツを実施。的に命中した人には記念品として松山オリジナルグッズ等を数量限定で配布した。また、インスタグラムや facebook 等のＳＮＳに当協会のランタンやブースの模様を掲載してくれた人にも記念品を贈呈することで、「松山」の認知度向上と情報の拡散に努めた。

さらに、今回は職員が坊っちゃん、マドンナの衣装を着てパレードに参加することで、「愛媛・松山」のイメージを大いにアピールした。

松山観光ブース

パンフレット配布

ＳＮＳイベント

点灯式の様子

ニュース

パレード

閉幕式

ニュース

松山をモチーフにしたランタン

（５）物産と観光展事業

①　松山の物産と観光展（札幌）

期　　日　　平成 31 年 2 月 21 日(木)～2 月 26 日(火)

場　　所　　札幌市（さっぽろ東急百貨店）

内　　容

（１）物産展―松山市が誇る選りすぐりの食品２５業者（新規１）、工芸品６業者が出店。

（２）観光展―愛媛県内の主要な観光地をポスターやパンフレットで紹介。
「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」を施設の概要や陶板等で紹介。

（３）特別企画―①まつやま農林水産物ブランド「せとか」を数量限定で販売。
②「松山の物産と観光展」開催２０回・「松山⇔札幌」直行便就航１周年・「東急百貨店創業８５周年」を記念し、お楽しみ抽選会を実施。
③「タオルお楽しみ袋」を数量限定で販売。
（４）表敬訪問等―開催に伴い札幌市をはじめ関係団体、旅行会社を表敬訪問。
（５）宣伝ＰＲ―新聞・テレビ等による事前告知や開催期間中には、テレビ中継のほか適宜街頭宣伝も行った。

表敬訪問

開展式

街頭宣伝

お楽しみ抽選会

みきゃんとの撮影会

観光コーナー

会場内１

会場内２

会場内３

②　松山の物産と観光展（首都圏等）

ア．第７回ネギ来まつり＆米子駅まつり

期　　日　　平成 30 年 10 月 20 日（土）～21 日（日）

場　　所　　米子市文化ホール前広場

内　　容　　松山・高知・米子の３都市が連携、推進している広域観光連携事業の一環として、当イベントに初出展した。ブースでは、松山の観光案内や特産品の販売を実施するとともに、まつやま農林水産物ブランドの銀鱗煮干しを限定配布する企画なども行い、多くの来場者に松山の魅力をＰＲすることができた。

松山ブース

物産品販売

地元ラジオ局の取材

イ．東京 2020 オリンピック・パラリンピック 500 日前記念イベント

期　　日　　平成 31 年 3 月 3 日（日）

場　　所　　東京・新宿

内　　容　　松山市と新宿区は「夏目漱石をゆかりとした歴史・文化及び観光交流に関する協定」を締結していることから、松山市と共同で観光ＰＲや物産販売を行った。ブース内では、ピストルダーツを実施したことで、大勢の親子連れが訪れてくれ、物産品も完売し、松山の魅力を広くＰＲすることができた。

式典

松山ブース

物産品販売

ウ．土佐皿鉢まつり２０１９

期　　日　　平成 31 年 3 月 3 日（日）

場　　所　　高知市ひろめ市場前広場

内　　容　　タペストリーやポスター等で主要な観光施設を紹介するとともに、ピストルダーツゲームを実施し、当たりに命中した人に記念品として道後温泉ハンドタオルやまつやま農林水産物ブランド「せとか」を松山市内観光パンフレットセットと一緒にプレゼントし、松山の魅力をＰＲした。

イベント

会場内

松山ブース

（６）パンフレット等の作成頒布事業

瀬戸のまつやま「海ごはん」ＭＡＰ　　10,000 枚

（７）案内所運営事業

① 松山城東雲口駅舎１階案内所（委託業務）
② 道後観光案内所（委託業務）
③ JR 松山駅松山市観光案内所（委託業務）
④ 松山観光港ターミナル観光案内所（委託業務）

観光案内業務	件　数	68,153	件
松山観光レンタサイクル事業（道後観光案内所）	件　数	1,266	件
松山観光レンタサイクル事業（松山城東雲口駅舎１階）	件　数	979	件

（８）松山観光ボランティアガイド事業

①　ボランティア活動報告

●登録者数　　１７２名

1. 案内コース	道後周辺	松山城
2. 案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）
3. 案内時間	9:00～12:00	9:00～12:00
	13:30～16:30（金土日祝のみ）	13:00～16:00
4. ガイド人数	平日　　２名	平日　　４名
	土日祝　４名	土日祝　１０名
5. 案内件数	1,737 件	3,365 件
6. 案内人数	5,771 人	13,458 人

1. 案内コース	坂の上の雲ﾐｭｰｼﾞｱﾑ周辺	JR 松山駅発 湯・遊ｺｰｽ
2. 案内日	毎日（坂の上の雲ﾐｭｰｼﾞｱﾑ休館日及び年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3. 案内時間	9:30～12:30	
	13:00～16:00	12:30～16：30
4. ガイド人数	平日　　２名	土日祝　松山城　１名
	土日祝　６名	土日祝　道後　　３名
5. 案内件数	2,127 件	54 件
6. 案内人数	4,878 人	140 人

②　ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾　～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主　　催　　松山商工会議所・松山大学・(一社)愛媛県観光物産協会・松山市
　　(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間　　平成 30 年 10 月 1 日(月)～平成 31 年 1 月 21 日(月)　　(全 15 回)

場　　所　　松山大学　（松山市文京町 4-2）

受 講 者　　一般　１１５名（うち松山商業高校４０名）
　　大学生　５７名　　計１７２名

２．コンベンション事業（公益目的事業２）

（１）誘致促進事業

①　誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面で誘致宣伝活動を実施した。

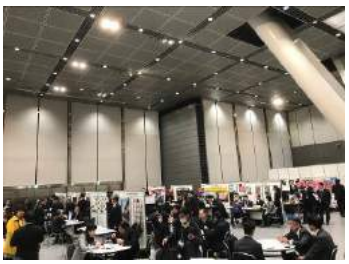
加えて、松山市内外の地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。

（詳細は別紙資料４参照）

首都圏：　　116 団体
県　内：　　119 団体

②　第 28 回国際ＭＩＣＥエキスポ（ＩＭＥ2019 ）への参加（出展）

会　期　　平成 31 年 2 月 28 日（木）
会　場　　東京国際フォーラム
主　催　　日本政府観光局（ＪＮＴＯ）
　　（一社）日本コングレス・コンベンション・ビューロー（ＪＣＣＢ）
概　要　　今回の国際 MICE エキスポは、昨年度から転換した商談会形式を継続し、会場をホテル（京王プラザホテル新宿）から展示場（東京国際フォーラム）に移しての開催となった。87 団体・94 ブースのセラーが出展し、総来場者（参加者）は約 940 名（バイヤー499 名、セラー441 名）を数え、盛況のうちに終了した。 商談会は、13:30 から 20 分間のセッションが計 11 セッション設けられ、商談時間が昨年度よりも 5 分長くなったことで、多くのブースで熱心な商談が行われた。


会場風景

セミナー

松山ブースでの商談風景

③　誘致懇談会の開催

ア．中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関 14 団体で構成する協議会であり、相互に意見・情報交換し、事業の円滑な遂行を図る。

・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催
開催日　　平成 30 年 10 月 4 日（木）～10 月 5 日（金）
会　場　　くにびきメッセ（松江）
出席者　　13 団体 33 名

・中国・四国地区コンベンション推進協議会研修会

開催日　　平成 31 年 3 月 14 日（木）～3 月 15 日（金）

会　場　　山口県山口市 ホテルニュータナカ　他

イ．７都市情報交換会事業

全国を７ブロックに分け、各ブロックから都市規模が同等であるコンベンション推進団体が参加して構成する会であり、相互に情報交換を実施するとともに、年に１度、東京で主催者を招き懇談会を実施。

・７都市情報交換会（５回実施）

開催日及び場所　①平成 30 年 7 月 18 日（水）　鹿児島
②平成 30 年 9 月 25 日（火）　東京
③平成 30 年 12 月 11 日（火）　東京
④平成 31 年 1 月 23 日（水）　東京
⑤平成 31 年 3 月 14 日（木）　秋田

・７都市情報懇談会の開催

開催日　　平成 31 年 1 月 24 日（木）

会　場　　東京會舘　７階「マグノリア」（東京都千代田区丸之内）

主　催　　７都市情報交換会

概　要　　コンベンション主催者約３０名と７都市情報交換会の関係者約３０名の合計約６０名が一堂に会し、都市の特徴やコンベンション支援に関する情報提供を行い、７都市でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了。

プレゼンテーション

情報交換の様子

会場内風景

ウ．コンベンション地元誘致懇談会の開催

地元誘致懇談会は２部構成で、第一部は講演会、第二部は次年度以降、愛媛県内で大会開催予定の地元キーパーソンや有力者などの主催者を招き、大会準備や運営に関する情報・意見交換と、当協会賛助会員との商談機会やネットワーキングを目的として開催。

開催日　　平成 30 年 9 月 27 日（木）

会　場　　道後プリンスホテル

概　要　　第一部　講演会　講師…川﨑悦子 氏（JNTO MICE ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ部長）
第二部　懇談会…野球拳・伊予万歳の披露、ミニ展示会など

講演会

会場内風景

郷土芸能披露

④　海外からの誘致促進事業

・松山春まつりに伴うランタン関係者招聘

日時　　平成 30 年 4 月 6 日（金）～4 月 9 日（月）

内容　　平成 30 年 4 月 6 日～4 月 8 日に開催された「松山春まつり」に合わせて、台湾からランタン製作者を招聘し、次回のランタン製作のアイデアとしていただくために、桜に彩られた松山城や飛鳥乃湯泉、大名行列などを視察していただいた。

市長との対面

飛鳥乃湯泉視察

大名行列

（２）開催支援事業

①　開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し交付した。

交付件数　　47 件（平成 29 年度：42 件）

交付総額　12,860,000 円（平成 29 年度：20,670,000 円）

（詳細は別紙資料５参照）

②　歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（原則として参加者１，０００人以上が条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し松山のイメージアップを図り、来松のリピート効果を上げるために実施した。

掲出実績　　松山空港ビル　7 件（詳細は別紙資料５参照）

③　支援グッズの作成

・「ようおいでたなもし’１８～’１９」（愛媛・松山観光ガイド）の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩きＭＡＰと文化観光施設等割引入場券を一緒にした形で発行。コンベンション参加者に提供した。
発行部数　　５０，０００部

・ナイロン製アームバッグの作成
コンベンション参加者の支援用として作成配布した。
作成枚数　　４５，０００部

④　サポートスタッフの派遣・育成

コンベンションボランティア（会議時における受付・クローク、通訳等）の派遣や郷土芸能の紹介、派遣を実施した。

＜派遣実績＞
・郷土芸能　　５件

⑤　その他

・えひめコンベンション施設ガイドの提供
誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。
提供部数　　約　５００部

（３）調査・研究事業

①　経済波及効果調査

・平成２９年度コンベンション統計の作成

平成 29 年度に県内で開催されたコンベンションの件数・人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。

〈概要〉　コンベンション参加者　　2,182,233 人（平成 28 年度：1,401,905 人）
推定消費額　　187 億円（平成 28 年度：70 億円）
※ 平成 29 年度に「えひめ国体・えひめ大会」が開催されたことが押上げ要因

②　コンベンション調査

ア．平成３０年度コンベンションカレンダーの発行

平成 30 年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員ならびに大学関係者等に配布した。（発行部数：2,000 部）

イ．アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料とした。

ウ．コンベンションビューロー部会

ＪＣＣＢ会員（7 業種 124 会員）のうち、コンベンションビューローの会員（73 団体）で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。

エ．平成３０年度ＪＣＣＢ総会

開催日　　平成 30 年 6 月 25 日（月）

会　場　　京王プラザホテル（東京）

オ．平成３０年度ＪＣＣＢ第１回部会

開催日　　平成 30 年 7 月 19 日（木）～7 月 20 日（金）

会　場　　城山ホテル鹿児島（鹿児島）

カ．平成３０年度ＪＣＣＢ第２回部会

開催日　　平成 30 年 12 月 12 日（水）～12 月 13 日（木）

会　場　　日本科学未来館（東京）

キ．四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区のコンベンション推進５団体（高松、徳島、鳴門、高知、松山）で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

＜第１回＞

開催日　　平成 30 年 8 月 28 日（火）

会　場　　高松港旅客ターミナルビル内会議室（高松市）

＜第２回＞

開催日　　平成 31 年 3 月 11 日（月）

会　場　　あわぎんホール内会議室（徳島市）

③　管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるためのシステム運用

・支援を行った大会等

支援件数　　148 件（平成 29 年度：168 件）

資料配付数　　42,324 部（平成 29 年度：57,328 部）

（詳細は別紙資料５参照）

Ⅲ．収益事業報告

１．広告料収入事業

（１）松山城ロープウェイ駅舎３階壁面広告

広告期間　　平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　10業者

（２）物産陳列ケース広告

展示期間　　平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
展示業者　　２３業者

（３）松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間　　平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　８業者

（４）（公財）松山観光コンベンション協会ホームページバナー広告

広告期間　　平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　6業者

２．手数料収入事業

（１）案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷㈱絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	１５９	冊
佐川印刷㈱自動販売機（ｽﾄﾗｯﾌﾟ・ﾌﾞｯｸﾏｰｶｰ）販売	販売数	７６０	個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	１３	冊
㈱エス・ピー・シー書籍販売	販売数	４	冊
㈱エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	５１７	個
松山はいくチケット販売	販売数	４９	枚
㈱ムラヤマ城カード	販売数	１１２８	枚
山口造形企画室ペーパーオーナメント・しおり	販売数	４１９	枚

（２）自動販売機での飲料販売による手数料

設置業者　　大塚製薬㈱・四国乳業㈱・コカ・コーラボトラーズジャパン㈱
　　ダイドービバレッジサービス㈱
売上本数　　３１，０７８本

（３）記念メダル販売による手数料

①松山城メダル

メダル等販売数　１０，１４６個
刻印機利用数　　５，１３３回

②道後温泉メダル

メダル等販売数　　１，００２個
刻印機利用数　　５７６回

３．販売収入事業

（１）名刺台紙販売

販売数　　１１１個

（２）図書販売

販売数　　７３２冊

（３）ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数　　８７５枚
松山城ハンドタオル販売数　　６２枚

（４）オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数　　１個
紙袋販売数　　１，７８０枚

Ⅳ．その他管理事業等

１．機関紙作成

年２回各４，０００部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

２．ホームページ及び電子パンフレット運営業務

〔参考〕ユーザー訪問(ﾍﾟｰｼﾞﾋﾞｭｰ)数　　３３３，６１６件（うち、13,938 件はスマホサイト）

３．新規会員の確保

新規加入　　８件
会　　員　　３９７件(3 月 31 日現在)

４．会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会（企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会）を必要に応じ適宜開催した。

（１）理事会

内容については別紙資料１

①期　　日　　平成 30 年 5 月 16 日(水)
　場　　所　　国際ホテル松山
②期　　日　　平成 30 年 6 月 1 日(金)
　場　　所　　ホテルマイステイズ松山
③期　　日　　平成 30 年 7 月 20 日(金)　　※　決議の省略
④期　　日　　平成 30 年 12 月 13 日（木）※　決議の省略
⑤期　　日　　平成 31 年 3 月 27 日(水)
　場　　所　　ＡＮＡクラウンプラザホテル松山

（２）評議員会

内容については別紙資料１

①期　　日　　平成 30 年 4 月 1 日(日)　※　決議の省略
②期　　日　　平成 30 年 6 月 1 日(金)
　場　　所　　ホテルマイステイズ松山
③期　　日　　平成 30 年 7 月 24 日（金）※　決議の省略

（３）各専門委員会

内容については別紙資料２

①誘客促進委員会

期　　日　　平成 30 年 8 月 1 日（水）

場　　所　　松山市男女共同参画推進センター（コムズ）

②観光物産振興委員会

期　　日　　平成 30 年 7 月 24 日（火）

場　　所　　松山市男女共同参画推進センター（コムズ）

③企画開発委員会

期　　日　　平成 30 年 7 月 31 日（火）

場　　所　　松山市総合コミュニティセンター　２階　第１会議室

④３委員会合同意見交換会

期　　日　　平成 30 年 9 月 3 日（月）

場　　所　　東京第一ホテル松山

５．共催・協賛事業

（１）第４８回野球拳全国大会

期　　日　　平成 30 年 4 月 7 日（土）

主　　催　　春まつり野球拳全国大会実行委員会

（２）第１５回伊予節全国大会

期　　日　　平成 30 年 4 月 7 日（土）

主　　催　　伊予節全国大会実行委員会

（３）第４８回奥道後皐月展

期　　日　　平成 30 年 5 月 19 日（土）～6 月 10 日（日）

主　　催　　愛媛皐月協会

（４）第６８回松山港まつり・三津浜花火大会

期　　日　　平成 30 年 8 月 5 日(日)

主　　催　　松山港まつり振興会

（５）　いもたき事業（共催事業）

・出合橋下河川敷

期　　日　　平成 30 年 9 月 7 日(金)～10 月 13 日（土）

主　　催　　観光松山いも炊き会

参 加 者　　4,799 名

（６）松山を楽しもうｷｬﾝﾍﾟｰﾝ2018（共催事業）

期　　日　　平成30年9月～11月

主　　催　　松山を楽しもうキャンペーン2018実行委員会

（７）第５０回奥道後菊花展

期　　日　　平成30年10月27日（土）～11月23日（金・祝）

主　　催　　西日本菊花芸術協会

（８）松山城「お正月」イベント（共催事業）

期　　日　　平成31年1月1日（火・祝）

主　　催　　松山市、伊予鉄道（株）松山城総合事務所

（９）坊っちゃんカップ・第１２回道後温泉卓球大会（共催事業）

期　　日　　平成31年2月18日（月）～2月20日（水）

主　　催　　公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

(10）第５７回愛媛マラソン

期　　日　　平成31年2月10日（日）

主　　催　　愛媛陸上競技協会、南海放送、愛媛新聞社、松山市

(11）第１３回まつやま農林水産まつり

期　　日　　平成31年2月16日(土)～17日（日）

主　　催　　まつやま農林水産まつり実行委員会

(12）愛媛調理製菓専門学校「料理作品展２０１９」

期　　日　　平成31年2月11日（月・祝）

主　　催　　学校法人愛媛学園　愛媛調理製菓専門学校

貸借対照表

平成31年3月31日現在

一般会計　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	27,341,534	40,924,458	△ 13,582,924
未収金	46,287,343	43,704,073	2,583,270
過払金返金	0	0	0
棚卸資産	1,577,486	1,898,825	△ 321,339
流動資産合計	75,206,363	86,527,356	△ 11,320,993
２．固定資産			0
(1) 基本財産			0
定期預金	421,232,000	521,000,000	△ 99,768,000
投資有価証券	99,768,000	0	99,768,000
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退職給与引当預金	9,553,761	6,553,761	3,000,000
特定資産合計	9,553,761	6,553,761	3,000,000
(3) その他固定資産			0
電話加入権	149,968	149,968	0
什器備品	16,412	21,882	△ 5,470
その他固定資産合計	166,380	171,850	△ 5,470
固定資産合計	530,720,141	527,725,611	2,994,530
資産合計	605,926,504	614,252,967	△ 8,326,463
Ⅱ　負債の部			0
１．流動負債			0
未払金	52,195,070	49,784,219	2,410,851
仮受金	7,433,807	20,844,312	△ 13,410,505
流動負債合計	59,628,877	70,628,531	△ 10,999,654
２．固定負債			0
退職給付引当金	43,304,233	39,284,855	4,019,378
固定負債合計	43,304,233	39,284,855	4,019,378
負債合計	102,933,110	109,913,386	△ 6,980,276
Ⅲ　正味財産の部			0
１．基金	0	0	0
基金	0	0	0
２．指定正味財産	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産合計	521,000,000	521,000,000	0
（うち基本財産への充当分）	(521,000,000)	(521,000,000)	(521,000,000)
３．一般正味財産			0
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 18,006,606	△ 16,660,419	△ 1,346,187
一般正味財産合計	△ 18,006,606	△ 16,660,419	△ 1,346,187
正味財産合計	502,993,394	504,339,581	△ 1,346,187
負債及び正味財産合計	605,926,504	614,252,967	△ 8,326,463

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	117,348	457,937	△ 340,589
基本財産利息収入	117,348	457,937	△ 340,589
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取会費	11,865,000	12,120,000	△ 255,000
賛助会員会費収入	11,865,000	12,120,000	△ 255,000
事業収益	7,708,441	8,431,198	△ 722,757
広告料収入	1,148,880	1,448,880	△ 300,000
手数料収入	2,492,125	2,353,357	138,768
販売収入	1,245,945	2,392,268	△ 1,146,323
観光PR事業収入	580,400	0	580,400
物産と観光展手数料収入	2,241,091	2,236,693	4,398
受取補助金等	180,242,193	172,534,688	7,707,505
市補助金等収入	180,242,193	171,534,688	8,707,505
県補助金等収入	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取負担金	1,500,000	1,000,000	500,000
負担金収入	1,500,000	1,000,000	500,000
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	136,537	137,465	△ 928
受取利息	722	819	△ 97
雑収入	0	12,000	△ 12,000
雇用保険料預り金	135,815	124,646	11,169
経常収益計	201,569,519	194,681,288	6,888,231
（2）経常費用			0
事業費	168,567,067	164,010,983	4,556,084
報酬	631,769	636,179	△ 4,410
給料手当	32,506,396	32,171,932	334,464
退職給付費用	2,120,374	1,189,112	931,262
福利厚生費	9,819,394	9,737,997	81,397
臨時雇賃金	2,184,134	4,149,503	△ 1,965,369
会議費	1,158,279	2,390,933	△ 1,232,654
旅費交通費	9,168,651	11,096,754	△ 1,928,103
通信運搬費	6,979,700	6,915,882	63,818
什器備品減価償却費	5,470	5,470	0
手数料	3,800	0	3,800

消耗品費	12,995,671	11,237,440	1,758,231
印刷製本費	3,885,330	4,644,181	△ 758,851
諸謝金	8,021,721	10,608,840	△ 2,587,119
報償費	600,000	600,000	0
委託費	47,749,960	33,729,009	14,020,951
負担金支出	2,127,700	2,358,140	△ 230,440
広告宣伝費	6,324,660	6,314,100	10,560
賃借料	3,841,069	1,746,321	2,094,748
修繕費	355,320	0	355,320
保険料	986,790	291,620	695,170
燃料費	0	0	0
光熱水料費	259,112	69,802	189,310
助成金支出	15,790,000	23,130,000	△ 7,340,000
租税公課	116,400	0	116,400
雑費	192,773	194,098	△ 1,325
期首棚卸高	1,898,825	1,731,574	167,251
期末棚卸高	△ 1,156,231	△ 937,904	△ 218,327
管理費	34,336,044	29,239,497	5,096,547
役員報酬	4,579,244	6,075,234	△ 1,495,990
給料手当	14,107,155	11,078,329	3,028,826
福利厚生費	3,662,194	2,938,794	723,400
臨時雇賃金	1,583,403	0	1,583,403
退職給付費用	1,899,004	588,184	1,310,820
会議費	350,127	184,343	165,784
旅費交通費	0	0	0
交際費	32,400	40,200	△ 7,800
通信運搬費	1,163,625	1,304,007	△ 140,382
消耗品費	1,493,718	1,303,577	190,141
印刷製本費	523,584	499,824	23,760
諸謝金	208,300	200,000	8,300
委託費	663,984	663,768	216
負担金支出	574,114	628,714	△ 54,600
賃借料	2,096,508	2,142,696	△ 46,188
修繕費	0	0	0
保険料	270,810	364,020	△ 93,210
燃料費	98,944	88,967	9,977
光熱水料費	623,580	775,500	△ 151,920
租税公課	405,350	357,900	47,450
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費（予備費含まない）	0	5,440	△ 5,440
経常費用計	202,903,111	193,250,480	9,652,631

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,333,592	1,430,808	△ 2,764,400
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,333,592	1,430,808	△ 2,764,400
２．経常外増減の部			
（1）経常外収益			
過年度損益修正益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
（2）経常外費用			
一般正味財産修正額	0	521,000,000	△ 521,000,000
退職給付費用			
棚卸資産廃棄損	12,595	46,323	△ 33,728
経常外費用計	12,595	521,046,323	△ 521,033,728
当期経常外増減額	△ 12,595	△ 521,046,323	521,033,728
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,346,187	△ 519,615,515	518,269,328
一般正味財産期首残高	△ 16,660,419	502,955,096	△ 519,615,515
一般正味財産期末残高	△ 18,006,606	△ 16,660,419	△ 1,346,187
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産修正額	0	521,000,000	△ 521,000,000
当期指定正味財産増減額	0	521,000,000	△ 521,000,000
指定正味財産期首残高	521,000,000		521,000,000
指定正味財産期末残高	521,000,000	521,000,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	502,993,394	504,339,581	△ 1,346,187

平成30年度正味財産増減計算書（内訳表）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
1．経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	0	0	117,348	117,348	0	0	0	0	0	117,348
基本財産利息収入			117,348	117,348			0			117,348
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取会費	0	0	11,865,000	11,865,000	0	0	0	0	0	11,865,000
賛助会員会費収入			11,865,000	11,865,000			0	0		11,865,000
事業収益	2,821,491	237,400	0	3,058,891	4,649,550	0	4,649,550	0	0	7,708,441
広告料収入				0	1,148,880		1,148,880			1,148,880
手数料収入				0	2,492,125		2,492,125			2,492,125
販売収入		237,400		237,400	1,008,545		1,008,545			1,245,945
観光PR事業収入	580,400			580,400			0			580,400
物産と観光展手数料収入	2,241,091			2,241,091			0			2,241,091
受取補助金等	110,445,960	33,025,499	0	143,471,459	0	0	0	36,770,734	0	180,242,193
市補助金等収入	110,445,960	33,025,499		143,471,459			0	36,770,734		180,242,193
県補助金等収入	0			0			0			0
受取負担金	500,000	0	1,000,000	1,500,000	0	0	0	0	0	1,500,000
負担金収入	500,000		1,000,000	1,500,000			0			1,500,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	0	722	722	0	0	0	135,815	0	136,537
受取利息			722	722			0			722
雑収入				0			0			0
雇用保険料預り金				0			0	135,815		135,815
経常収益計	113,767,451	33,262,899	12,983,070	160,013,420	4,649,550	0	4,649,550	36,906,549	0	201,569,519
（2）経常費用										
事業費	120,517,300	39,335,550	4,522,188	164,375,038	4,192,029	0	4,192,029		0	168,567,067
報酬	0	0	631,769	631,769	0		0			631,769
給料手当	19,027,859	11,565,930	1,912,607	32,506,396	0		0			32,506,396
退職給付費用	941,463	1,178,911	0	2,120,374	0		0			2,120,374
福利厚生費	4,621,945	3,219,637	1,977,812	9,819,394	0		0			9,819,394
臨時雇賃金	2,184,134	0	0	2,184,134	0		0			2,184,134
会議費	404,161	754,118	0	1,158,279	0		0			1,158,279
旅費交通費	6,755,271	2,413,380	0	9,168,651	0		0			9,168,651
通信運搬費	6,749,986	229,714	0	6,979,700	0		0			6,979,700
什器備品減価償却費	0	0	0	0	5,470		5,470			5,470
手数料	3,800			3,800						3,800
消耗品費	10,079,706	2,859,805	0	12,939,511	56,160		56,160			12,995,671
印刷製本費	1,924,200	1,961,130	0	3,885,330	0		0			3,885,330
諸謝金	7,445,466	576,255	0	8,021,721	0		0			8,021,721
報償費	600,000	0	0	600,000	0		0			600,000
委託費	44,964,812	420,120	0	45,384,932	2,365,028		2,365,028			47,749,960
負担金支出	929,300	1,198,400	0	2,127,700	0		0			2,127,700
広告宣伝費	6,270,660	54,000	0	6,324,660	0		0			6,324,660
賃借料	3,253,174	11,070	0	3,264,244	576,825		576,825			3,841,069
修繕費	168,480	0	0	168,480	186,840		186,840			355,320
保険料	969,290	17,500	0	986,790	0		0			986,790
燃料費	0	0	0	0	0		0			0
光熱水料費	0	0	0	0	259,112		259,112			259,112
助成金支出	2,930,000	12,860,000	0	15,790,000	0		0			15,790,000
租税公課	116,400		0	116,400	0		0			116,400
雑費	177,193	15,580	0	192,773	0		0			192,773
期首棚卸高				0	1,898,825		1,898,825			1,898,825
期末棚卸高				0	△ 1,156,231		△ 1,156,231			△ 1,156,231

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
管理費								34,336,044	0	34,336,044
役員報酬								4,579,244		4,579,244
給料手当								14,107,155		14,107,155
福利厚生費								3,662,194		3,662,194
臨時雇賃金								1,583,403		1,583,403
退職給付費用								1,899,004		1,899,004
会議費								350,127		350,127
旅費交通費								0		0
交際費								32,400		32,400
通信運搬費								1,163,625		1,163,625
消耗品費								1,493,718		1,493,718
印刷製本費								523,584		523,584
諸謝金								208,300		208,300
委託費								663,984		663,984
負担金支出								574,114		574,114
賃借料								2,096,508		2,096,508
修繕費								0		0
保険料								270,810		270,810
燃料費								98,944		98,944
光熱水料費								623,580		623,580
租税公課								405,350		405,350
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費（予備費含まない）								0		0
経常費用計	120,517,300	39,335,550	4,522,188	164,375,038	4,192,029	0	4,192,029	34,336,044	0	202,903,111
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,749,849	△ 6,072,651	8,460,882	△ 4,361,618	457,521	0	457,521	2,570,505	0	△ 1,333,592
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,749,849	△ 6,072,651	8,460,882	△ 4,361,618	457,521	0	457,521	2,570,505	0	△ 1,333,592
2．経常外増減の部							0			
（1）経常外収益							0			
過年度損益修正益				0			0			0
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用							0			
退職給付費用				0			0			0
棚卸資産廃棄損				0	12,595					0
経常外費用計	0	0	0	0	12,595	0	12,595		0	12,595
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 12,595	0	△ 12,595	0	0	△ 12,595
他会計振替額			0	0		0	0			0
当期一般正味財産増減額	△ 6,749,849	△ 6,072,651	8,460,882	△ 4,361,618	444,926	0	444,926	2,570,505	0	△ 1,346,187
一般正味財産期首残高	△ 76,720,564	△ 35,634,077	75,779,564	△ 36,575,077	9,010,619	△ 1,757,451	7,253,168	12,661,490		△ 16,660,419
一般正味財産期末残高	△ 83,470,413	△ 41,706,728	84,240,446	△ 40,936,695	9,455,545	△ 1,757,451	7,698,094	15,231,995	0	△ 18,006,606
Ⅱ　指定正味財産増減の部							0			
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			521,000,000	521,000,000			0			521,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高	△ 83,470,413	△ 41,706,728	605,240,446	480,063,305	9,455,545	△ 1,757,451	7,698,094	15,231,995	0	502,993,394

財産目録

平成31年 3月31日現在

一般会計　　（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	つり銭準備金として	130,000
	預金	普通預金	運転資金として	27,211,534
		普通（伊予銀行）		5,826,344
		普通（愛媛銀行）		7,766,996
		普通（愛媛信用金庫）		9,524,513
		普通（県信漁）		580,819
		普通（県信連）		1,334,905
		普通(預り金)		473,788
		普通(書籍)		131,800
		普通(グッズ精算)		173,300
		普通(メダル)		1,392,997
		普通(物産)		6,072
	未収金			46,287,343
	会費収入			50,000
	販売収入			150,240
	手数料収入			82,352
	物産収入			46,004,751
	棚卸資産			1,577,486
流動資産合計				75,206,363
（固定資産）				
基本財産				521,000,000
	定期預金		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	421,232,000
	定期（伊予銀行）			10,000,000
	定期（伊予銀行）			45,000,000
	定期（伊予銀行）			150,000,000
	定期（伊予銀行）			232,000
	定期（愛媛銀行）			45,000,000
	定期（愛媛銀行）			55,000,000
	定期（愛媛銀行）			30,000,000
	定期（愛媛信用金庫）			56,000,000
	定期（愛媛信用金庫）			20,000,000
	定期（県信漁）			10,000,000
	投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	99,768,000
	有価証券（地方債）	第438回大阪府公募公債（10年）		99,768,000
特定資産				
	退職給与引当預金			9,553,761
	伊予銀行(普通)			9,553,761
その他固定資産				
	電話加入権		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、管理運営の用に供している。	149,968
	什器備品		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、収益事業の用に供している。	16,412
	収益目的保有財産	松山城ﾛｰﾌﾟｳｪｲ駅舎3階	物産陳列ケース	16,412
固定資産合計				530,720,141
資産合計				605,926,504
（流動負債）				
	未払金			59,628,877
	未払金		公益目的事業等に供する支払	52,195,070
	仮受金		松山市へ返還すべき市補助金	7,433,807
流動負債合計				59,628,877
（固定負債）				
	退職給付引当金			43,304,233
固定負債合計				43,304,233
負債合計				102,933,110
正味財産				502,993,394

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

（1） 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。

（2） 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

（3） 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。（償却率：0.25）

（4）リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

（5）引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

（6）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	521,000,000	0	99,768,000	421,232,000
投資有価証券	0	99,768,000	0	99,768,000
小計	521,000,000	99,768,000	99,768,000	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,553,761	3,000,000	0	9,553,761
小計	6,553,761	3,000,000	0	9,553,761
合計	527,553,761	102,768,000	99,768,000	530,553,761

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定 期 預 金	421,232,000	（421,232,000）	（0）	（　－）
投資有価証券	99,768,000	（99,768,000）	（0）	（　－）
小計	521,000,000	（521,000,000）	（0）	（　－）
特定資産				
退職給付引当資産	9,553,761	0	0	（9,553,761）
小計	9,553,761	0	0	（9,553,761）
合計	530,553,761	（521,000,000）	0	（9,553,761）

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

（単位：円）

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	5,470	530,638	16,412
合計	697,018	5,470	530,638	166,380

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	帳簿価格	時価	評価損益
第438回大阪府公募公債（10年）	99,768,000	101,120,000	1,352,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	180,242,193	180,242,193	0	一般正味財産

7. 表示方法の変更について

「貸借対照表」と「財産目録」に記載している基本財産の科目について、平成30年度に新たに有価証券を保有したことから、これまで「基財・預金債権」としていた科目を今年度より「定期預金」とし、「投資有価証券」と区別した表示に変更する。

附 属 明 細 書

１. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

２. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。